



**長 崎 県**  
中小企業家同友会

**DOYU**

ニュース  
**21**

E-mail jim@nagasaki.doyu.jp  
U R L http://www.nagasaki.doyu.jp

本部事務局 長崎市栄町1-20 大野ビル5F ☎(095)822-0680 FAX (095)824-4623

**「私たち中小企業家が長崎県を牽引していく！」**  
**～経営を極めていく企業家集団 会勢730名を達成しよう～**

## 2017年度 役員研修会 開催!!

日時：9月9日(土) 13:30 会場：長崎新聞文化ホール・アストピア

テーマ：支部の活性化のために、我々役員はどうあるべきか



猛暑が過ぎやっと朝夕涼しさを感じられるようになった頃、2017年度 長崎同友会役員研修会を開催いたしました。県央地区での開催が多かった役員研修でしたが、マンネリ化を考慮して長崎市内での開催としました。7月に愛知で開催された中同協 定時総会にて分科会報告をされ、全国の会員さんより大好評を得られた、代表理事の松尾さん、島原支部長の横田さん、分科会当日は座長を務められた元仲間づくり委員長の山領さん3名に報告をいただきました。

松尾代表理事は1972年11月14日に102名の会員にて全国10番目に設立された長崎同友会の設立時の経緯及び歴史を報告されました。設立当初の様々な困難を全国の会員さんが支援してくれた事を聞き、同友会の素晴らしさに感動を覚えました。

この思いを微力ながら継承していかなければと思いました。

横田島原支部長から島原支部づくりの経緯を報告いただきました。2009年に28名の会員で設立された島原支部ですが広範囲のため活動が思うように出来ない環境を3つの班制(A班南島原 B班島原 C班雲仙)と分け、相互が切磋琢磨する環境を作り支部を活性化した事例を中心に報告がありました。8年間で34名の増強をされ現在は62名の会員数を誇る立派な支部へとられました。環境に対応する取り組みは企業経営にもヒントになると思いました。

最後に仲間づくりのスペシャリストであられる山領元仲間づくり委員長より報告をいただきました。会員増強の増と強について、増については理解されている



### 目次

2017年度 役員研修会 開催報告 .....	1	事務局企業訪問 .....	14
9月例会報告 .....	2	入会・交代会員紹介 .....	15
第3回 中同協 共同求人・社員教育委員会 合同委員会 in 東京 参加報告 .....	9	会員活躍 .....	17
青年経営者全国交流会 in 茨城 及び 中同協 青年部連絡会 参加報告 .....	10	11月例会案内 .....	18
佐世保支部 第1回 ビジカルランチ 開催報告 .....	11	理事会議事録 抜粋 .....	19
諫早支部 産学連携委員会「学生と経営者懇談会」開催報告 .....	12	会員動向・会員数 .....	20
佐賀同友会 西支部 9月例会 参加報告 .....	13		



とおりですが、強については会員のレベルアップと退会防止を意味する事です。よって仲間づくり委員会の中を増と強に分けて活動すべきではないかとの提案もありました。増に関しては「増強デー」を設け活動の山を作る。耳にタコが出来るまで言い続ける。その他、何故会員拡大が必要なのかとの問いに「自分にとって大切な人と出会う為に」との考え方が私にとって新しい学びでした。最後に「人の為にいかに自分の時間を作ってやれるか、本気で情熱を持って支えるのが役員ではないか」との報告に身が引き締まる思いでした。



その後、同会場にて懇親会が開催され当然の如く盛り上がりましたが、諸般の事情により参加者が少なかった事が残念でした。来年は研修会も懇親会も多くの方が参加される事を祈念します。

最後になりますが担当理事として企画、運営をされた辻村副代表をはじめ事務局の皆さんご苦労さまでした。

(文責 副代表理事 金井 政春)

## 長崎浦上・長崎出島支部 合同例会報告

日 時	9月27日(水) 18:30～20:30
会 場	サンプリエール
テ ー マ	これからの長崎を見据えて ～中小企業の連携で地域の活性化を～
報 告 者	長崎市長 田上 富久 氏

冒頭は、長崎市の人口の推移、主な産業の現状、長崎市ならではの地理的な課題、地方自治体としての課題などの問題定義を挙げられ、これらの課題に対し長崎市としてはどの様にして地域の活性化に取り組んでいるのか、という所を現在行っている事業、今後のビジョンとして見据えている事柄を分かりやすく話をいただきました。

主な産業であります、観光産業についてもこれまで



の在り方では将来的な展望が希薄との見解として、国内はもとより国際的なアクセスの整備、これに伴うであろう重要な会議等を行える施設の建設予定、また日常生活に目を向けた行政サービスの取組みの話など、



通常の例会報告とは違った学びがありました。

報告の後は、通常のディスカッションではなく、田

上市長・長崎市商工部次長兼産業雇用政策課長の濱口さんと同友会相談役の泉さんによる同友会会員が事前に提出した質疑に対する討論会「激論」が行われ、我々が考えた問題点について可能な限り答えていただきました。

懇親交流会では、会員は皆大満足でしたが、本当に申し訳ないほどに最後まで田上市長には、挨拶と名刺交換の行列が続き、また、合同ということで、いつも以上に会員間の会話も充実している様子でした。

今回の例会に参加して、自身・自社の成長も大切ですが、大きな視野で物事を見る事の必要性を感じることができました。

(文責 長崎浦上支部 小川 悟)



大雨にも関わらず、多数の会員、ゲスト出席の中、田上長崎市長に、これからの長崎市のビジョンを熱くお話しいただきました。

「交流の産業化」による長崎創生、推進を、4つの柱を据えて行われています。

1. 顧客創造プロジェクト 2. 価値創造プロジェクト 3. 交流を支える都市の基盤整備 4. 交流の産業化を進める体制づくり その中でも、「MICE誘致対策の推進」で「今まで長崎市を訪れていなかった方に長崎市を選んでもらうための魅力と理由をつくる」「訪れていただくエリアを拡大する」という顧客創造プロジェクトの具体的取組みを挙げられました。

田上市長が長崎市を良くしようという熱い思いに会員の皆さんは、真剣に聞き入っていました。

特に私の印象に残っているのは「市民力」という言葉で、ALL長崎で取り組むまちを皆で作る。自分達のまちは自分達で良くする。時代の変化はビジネスチャンス！ということです。

1時間があっという間に過ぎていきました。続いては、「激論！」と題し、田上市長・長崎市商工部次長兼産業雇用政策課長 濱口さんと同友会からは相談役 泉さんによる、事前の会員アンケートに基づいた質疑応答が行われました。

1. 人口減少について 2. 新幹線及び観光の活性化

について 3. 長崎市地域振興条例の制定について等、泉さんの素晴らしいコーディネートで分かりやすく激論が交わされました。

今回の例会を機に、これまで以上に長崎市と長崎の中小企業が力を合わせ、同じ方向を向き、もっとより良いまちにしていくために我々も益々頑張っていくねばと強く思いました。

今回の長崎合同9月例会の開催にご尽力くださった宮田県政策委員長 本当にありがとうございます。また、連日の激務の中、最後の最後までご参加いただいた田上市長、本当にありがとうございました。

(文責 長崎出島支部 本村 崇)



## 大村支部 例会報告

日 時	9月21日(木) 18:30～21:15
会 場	長崎インターナショナルホテル
テ ー マ	同友会の学びと実践こそすべて！！ ～廃業の危機から法人化～
報 告 者	村上彫刻 副代表 村上 敦子 会員(佐世保支部)



村上さんは母親から「自分の力で生きる」「何があっても強くたくましく生きなさい！」と子供の頃から強く育てられ、20歳でラッキーボウルへ入社されます。そこでは現場を5年、統括本部で7年、多くの経験と仕事のやりがいを感じながら過ごされました。結婚を機に村上彫刻へ入社。

新たな挑戦をせず現状を維持すれば良しの家族経営と、経営環境を変えたい、このままの経営では危険すぎると感じた村上さんは社長のご主人と考え方がかみ合わずことごとく対立します。そんな中、得意先の仕事と同業者の相見積りで値下げに追い込まれ経営が厳しい状況に陥ります。そんな窮地の時に山領さんの紹介で同友会に入会され、会員の依頼をきっかけに記念品の事業に取り組み、「来た仕事は100%ではなく、200%の力でやらない



と駄目！」と言われ努力した結果、順調に新規事業は伸びます。しかし、またしてもご主人と対立。それは自分が仕事に取り組むことができていることへの感謝の気持ちをご主人や子供、亡くなられた先代へ表していないことに気付かれ、「とげを出していたら、とげが出てくる」まずは自分からありがとうの気持ちを伝えようという気持ちに変わっていかれたそうです。

そして、経営計画発表会、経営革新計画の取り組み、小規模持続化補助金の採択等々同友会の学びを吸収し様々な事へチャレンジし実践されています。同友会での出会いと繋がりを大事にし、意欲的に目的意識を持って同友会活動にも参加されている村上さんは同友会入会たったの2年で同友会を一番正しく、そしてフル活用されている方だと出席者皆が感じたのではないのでしょうか。

(文責 大塚 正一)

## 諫早支部 例会報告

日 時	9月20日(水) 17:30～20:00
会 場	長崎ウエスレヤン大学
テ ー マ	建設業を知る ～若者の建設業離れが深刻～
報 告 者	(株)豊恒 常務取締役 川野 雄輔 会員

例会の前に15時より、大学図書室において「学生と経営者懇談会」が開催されました。

17時から会場を学生食堂に移して皆でわいわいカツカレーを食べ、17時30分より例会を開催しました。大勢の学生や先生方も参加して総勢約65名、10テーブルの大盛会となりました。

報告内容は、戦国時代のインフラ整備が現代の改良工事(道路・砂防・河川)に生かされている件や、地元における大規模事業の様子など専門分野にも興味深い内容でした。

後半は、就業率の低下を踏まえた今後の展開について、まずは働く環境の整備、男女別快適トイレや更衣



室など女性の進出を踏まえた整備や、社会保険、厚生年金加入、適正な賃金水準の確保などを話されました。

また、技術面ではドローンなどの活躍が目覚ましく、空撮データから3D設計図を作成したり、バックホーを遠隔操作したりできるそうです。

学生を交えたディスカッションでは「3Kのイメージが変わった」「もっと広報すべき」また、学生もグループ発表に挑戦し「女性向けの環境整備?今頃ですか?」など厳しいご指摘も有り?大いに盛り上がりました。



締めには報告者から「今後の夢は、土木の現場で県内トップ10に入りたい」との決意表明がありました。相談役の総評で「トップ10じゃなくトップを目指し



なさい！」との、温かい喝！で定刻終了しました。

(文責 上野 辰一郎)

## 島原支部 例会報告

日 時	9月28日(木) 19:00～21:00
会 場	HOTELシーサイド島原
テ ー マ	これからのリーダーに必要なこととは？ ～日本人の心に学ぶ～
報 告 者	(株)マツモト 代表取締役 松本 一孝 会員(長崎浦上支部)



県共有委員長の松本さんは人材育成に悩み、世界NO.1コーチと呼ばれるアンソニー・ロビンズ氏に学ぶためアメリカに行かれ、様々なことを学ぼううちに、日本にこそ世界に類をみない素晴らしい教えがあることに気づかれたそうです。そして、寺子屋を開いて経営者や子供たちに学んだことを伝えていくことが使命であると考え、今年度の同友会新人社員フォローアップ研修では、若い人に「生き抜く力」を伝授すべく講師を務められています。

今回の例会では、報告の最初に実施したアンケートを基に、プロデューサー・タレント・スポンサー・マネージャーの4タイプに分かれて、それぞれのグループで旅行を計画するというワークを行いました。決められた時間の中で日程・場所・予算について意見を出し合い、その内容を発表しました。細かいところまで具体

的に書いているグループもあれば、少し無理なプランかな？というグループもあり、その違いが面白かったです。松本さんは仕事では経営者と同じ考えの人を高く評価しがちだが、4タイプの人の方が良いと話されました。そして、色々なタイプの人に響く言い方をするためには、伝達力（伝えると伝わるの違い）を身に着けることが大切だとも話されました。私自身、社員に対して、伝わる話し方をしていなかったと反省しました。

全てのタイプに伝わるように、物事の伝え方を工夫する必要があるとつくづく感じた学び多き例会となりました。

(文責 馬場 絵美)



## 佐世保支部 例会報告

日 時	9月22日(金) 17:30～20:00
会 場	陶農レストラン清旬の郷
テ ー マ	業種を超越した仕事をする ～パッケージメーカーの挑戦～
報 告 者	(株)岩寄紙器 代表取締役 岩寄 大貴 会員



昨年に引き続き移動例会を波佐見町で行ないました。会場の都合上、例会開始時間も5時30分と通常より早い集合に関わらず、報告者である(株)岩寄紙器の岩寄大貴さんの地元ということもあり参加人数60名以上と活気のある例会となりました。

現在、岩寄大貴さん率いる(株)岩寄紙器は国内外の有名ブランドのパッケージを作られ「世界の志ある小売業トップ20」にも選出されるほど勢いのある企業です。また他社へのパッケージ提案だけでなく、開けるよろこびをテーマとした「AKERUプロジェクト」というコンセプトのもとオリジナルブランドの展開も行われています。「伝えるべきことを整理して正しく伝える」というブランディングの定義に沿った経営をされており会社の外観、オシャレなパッケージという見た目だけでなく独自の経営計画書を基に社員一丸となって(株)岩寄紙器のベクトルを合わせて経営されている岩寄大貴さんの姿が報告にしっかりと表れてい



ました。また、自社の失敗の経験を報告していただき、その失敗を前向きにとらえ見事にピンチをチャンスに変えたお話を聞き感動しました。

報告の最後に「そういえば昔箱屋だったんだってね」というフレーズが出てきました。その言葉の裏には「紙器業者」という固定観念に囚われず柔軟に時代に対応していこうとされる企業方針にあらためて感動しこれからはますます発展して行かれる企業であることを確信いたしました。また、このような経営者が同友会の仲間としていらっしやることに大変嬉しく、たくましく思います。

(文責 野田 洋市)

## 北松浦支部 例会報告

日 時	9月20日(水) 18:30～20:45
会 場	サンパーク吉井
テ ー マ	「経営指針成文化と実践の手引き」はなぜ大切なか ～同友会の経営指針は会社の基盤を強固にする～
報 告 者	チェンジコンサルティング(同) 業務執行社員 宇土 敏郎 会員(大村支部)

経営指針は以下の4つを総称して、経営指針である。

### 1. 経営理念

⇒企業の目的。企業の考え方を明示するもの、まとめたもの

### 2. 10年ビジョン

⇒経営理念に向けて10年間のビジョンを掲げる。

### 3. 経営方針

⇒10年ビジョンの実現をめざして中期(3～5年)の目標を示し、それに到達するための道筋を示したもの。

### 4. 経営計画

⇒設定された方針に基づき、それを達成するための手段、方策、手順を具体的に策定するもの。

さらに経営指針について、

### 1. 企業が目指す理想・ありたい姿(=目標)

⇒経営理念



2. 目標を実現するために具体的にイメージする  
⇒10年ビジョン
3. 10年ビジョン実現に向け中期(3~5年)先の目標と道筋  
⇒経営方針
4. 方針実現の手段、方策、手順  
⇒経営計画
5. 経営指針の実践(現状の課題の整理:診断書)  
⇒企業変革支援プログラム1
6. 経営指針の実践(実践の進捗度:処方箋)  
⇒企業変革支援プログラム2

※企業変革支援プログラムは経営指針実践の進捗をセルフチェックできるもの。

経営指針を実践していくと、

経営理念や10年ビジョンを社員と共有し、そこへ向かって共に行動することで企業変革が進み、顧客や取引先などから社会的にも評価され、経営指針で掲げ

た企業像に近づく成果が出ている状態となる。

#### 感想

自社の経営指針の必要性が学べましたが、やはり自分一人で作成することは難しいと感じました。同友会でしっかり勉強しながら、また同友会の会員同士で協力しながら作成していくことが素晴らしい経営指針を作成する近道だと思いました。

作成例:日本料理のこだわりについても、業種は異なりますが自分自身の会社に重ね合わせてイメージすることができ非常にわかりやすかったです。

また、経営指針について学びながら中小企業家同友会の歴史や理念も学ぶことができ非常に勉強になりました。

(文責 吉田 大)

## 五島支部 例会報告

日 時	9月20日(火) 18:30~21:00
会 場	福江総合福祉保健センター
テ ー マ	会社の現状とこれから ~小さくても、強く、たくましい会社を目指して~
報 告 者	五島トラック建設(有) 取締役 谷川 喜一 会員



今月は五島支部の例会委員長自ら報告をされました。大学卒業後、家業でもある建設関係の道を選び、武者修行のように全国各地の現場で仕事をしながら、様々な経験(失敗も)をされたようです。中でも印象深い経験を、そのときにいただいた(言われた)言葉とともに報告いただきました。「だからお前には任せられないんだよ!」最初に任された仕事



(現場)で当時の所長から言われた言葉です。仕事で段取りがわからず、同じ年齢の同僚を引き合いに出されて叱責され、悔しさや情けなさ・不安感から自席に戻って人目も憚らず号泣したそうです。その他にも3つのエピソードをお話いただきましたが、どの経験も現在の谷川さんの人間性や仕事観に大きく影響を与えたのではないかと思います。現在、五島市を中心に建設業を営まれていますが、今後を見据えて人材不足や人材育成を積極的に行っていきたいという抱負を述

べられていました。今後の谷川さんの素直な学ぶ力に期待したいと思います。

また今月の例会では新入会員3名（9月入会4名）へのバッジ贈呈も行われ、仲間づくり増強デーで活躍された谷川仲間づくり委員長も満面の笑みで増強個人賞を授受されていました。ご入会いただいた4名の方の今後の活躍を期待いたします。

（文責 勝本 政裕）



## 青年経営者会 例会報告

日 時	9月26日(火) 19:00～21:00
会 場	プライムステージ
内 容	意見交換会



今回の例会では青年経営者会の各会員の仕事の中で現在と今後考えられるお客様、現在提供している商品・サービス、また今後考えられる商品・サービス、その商品・サービスをどうやって売ってきたか、今後どうやって売っていくかを限られた時間のなかでそれぞれの会社の事業内容とともに報告していただきました。

会員の中でもあの人がある仕事をやっているか詳しく知らない。なんとなくは知ってはいるけど詳しくは知らないなど多かれ少なかれ会員の中であると思います。まずはそのことを解消して、会員同士で考えら



れる仕事のやり方を共有し発展できればと思い例会が行われました。

出席していただいた会員には自分の仕事の内容をしっかりと自分で発言していただき他の会員さんに理解していただけるように発言していただきました。しかし実際は自社のことを発言できない経営者がいる中で、同友会の中でいつも自社のことを考えている事もあるとしっかりと自社の紹介ができるとあらためて同友会の素晴らしさが感じられました。

会後の懇親会では共有していただいた仕事について「これできないのか?」「これは一緒にできない?」など今後の発展的な交流が深められた例会となりました。

（文責 笹田 健一）

# 第3回 中同協 共同求人・社員教育委員会 合同委員会 in 東京 参加報告

開催日：9月7・8日(木・金) 会場：TKP ガーデンシティ PREMIUM 神保町

テーマ：「真の人を生かす経営の実践とは」

報告者：中同協・共同求人委員長 小暮 恭一氏、中同協・社員教育委員長 梶谷 俊介氏

## 県共育委員長 松本 一孝

中小企業家同友会は「三つの目的」を掲げて運動をしてきました。その中心的な課題は「自主的に強靱な経営体質をつくる」ことです。そのためには「人材の確保と育成」が鍵となります。北海道から始まった「共同求人活動」が全国に広まり、「社員教育活動」と結合して発展しています。

会社は公器、少数精鋭だと公器ではなく自分達の会社になってしまいます。又、採用がなければ会社は存続しません。

良い会社をつくる為、三つの目的を達成するために共同求人・社員教育があります。

良い会社に学生は入りたいと考える。経営者は会社を良くしていくという考え方が根底にあって経営をしているが、企業経営は金儲けと思っている教育関係者も多い。これからは会社のみならず地域をどうするかを伝えていく必要がある。良い会社をつくるために就業規則は必須であるが、まだつくっていない会社も多い。労働者との関係で大切なものとの認識を持たせる指導が必要。採用があるから社員がいる。社員の成長が企業の成長。その為には教育が必要。

組織とは一人ではできないことを助けてくれる仲間を採用する事、その為には会社の目的・契約が必要。正しい労使関係を経営者がつくれるか？が課題（経営者と労働者は対等）。

採用とは企業の命運をかけてやる活動、だから大手が金をかけている。経営者の寿命＝会社の寿命であってはいけない。

## 事務局次長 峰 圭太

今回の合同委員会は中同協小暮共同求人委員長と梶谷社員教育委員長による「真の人を生かす経営の実践とは」という対談形式で問題提起がなされました。

共同求人は三つの目的を実践、とりわけ、よい会社をつくるための活動であること、そのためにも情勢が変化しても信頼関係が変わらない大学・高校との連携の姿勢を持つことが大事であるということ。また正しい労使関係の樹立のため、経営者の責任を再度学び、対等な労使関係こそ労使見解の本質であると提起され、社員から選ばれているという意識のもと共に育ち続けることが大事であるということでした。対等な労



今後、働く人が輝けるステージをどう作るか？学生から見てどう魅力的か？会社の志をうったえて仲間が入ってくるようにする。

就業規則がない会社は共同求人には参加できない（広島同友会）同友会も存在する。

経営計画に採用計画が載っていないものはダメ。

良い会社をつくるには社長だけでなく幹部社員、全てのスタッフを巻き込んだ教育・研修が必要。その為には教育・研修も業務の一環であること、業務であれば給与を払うこと。研修も新入社員向けだけではなく、経営者向け、幹部社員向け、営業職向け、人間関係・能力開発等々が必要となる。

長崎同友会として、年間の研修を増やす必要がある。想像してみてください。例えば社員が10年後のビジョンを考える研修があり、経営指針書だけでなく、経営者が社員と共に学ぶ場が今より増えた時に、長崎県中小企業家同友会の会員企業がどれくらい輝く会社が増えると思いますか？

使関係は社員を最も信頼できるパートナーとして位置づけ、就業規則を整備し社員がイキイキと働ける環境を整えることで「社長の寿命＝会社の寿命」にならない企業をつくるのが求められています。

2日目は共同求人、社員教育それぞれに分かれ専門委員会がありました。共同求人委員会ではjobwayの活用方法や法律施行・改正に伴う求人情報揭示の課題、就業規則への対応などが議論されました。

今回松本共育委員長、橋口共同求人準備委員長と参加させていただき、あらためて労使見解の学びの必要性、委員会同士の連携、今後の委員会活動のビジョンについて討論し、共有させていただくことができました。委員会活動は会員企業の専門的経営課題を解決す

ると同時に、地域と共に歩む中小企業という同友会理念の実践にもつながります。他県から学びながら長崎独自の運動として両委員長と連携し、また他の委員会

とも連携をとりながら運動に寄与していきたいと思えます。

## 青年経営者全国交流会 in 茨城 及び 中同協 青年部連絡会 参加報告

開催日：9月14・15日(木・金) 会場：ホテル・ザ・ウエストヒルズ水戸、水戸プラザホテル

### 第11分科会

#### 輝きつつける会社を目指して

～理念実践で気づけた大切なもの～

(株)ユニオン環境 代表取締役 大阪同友会 **辻野 誠 氏**

青年経営者会会長 **橋本 裕次郎**



私が分科会を選んだ理由としては、報告者の辻野さんの会社「(株)ユニオン環境」が清掃関係の仕事もしており、創業者の変革と挑戦の話に興味があったからでした。話を聞いて面白かったことは、独立起業した流れが私とものすごく近かったことです。前の会社が事業縮小する

にあたって清掃部門を辞めることになり、その事業を引き継ぐ形での独立起業でした。違う点は辻野さんはお父様から、私は血縁関係のない人から引き継いだことでした。

理念実践の話で、辻野さんの経営理念の中に「一人ひとりが生き生きと輝きつつける会社を目指します」とあり、そこに強く感銘を受けました。社員が輝きつつける会社は良い経営環境でもあり、そこから社員たちの私生活での幸せも生まれると思います。その点を私も実践していきます。私も今年に入ってから少しずつ経営環境を良い方向に変えていっております。新しい機材も入れ売上も上がり休みも増やしているのですが、数字にして社員に伝えていないので思うように伝わっていないのが課題です。

グループディスカッションでは、私以外みなさん後継者でした。そして共通の切実な問題点が「現社長が後継者の人選を明確にしていない。」でした。それによる業務への支障、派閥争いなどが会社内で起きていました。

分科会を終えてですが、何のために会社を経営しているのかと改めて考える機会にもなりました。答えは「楽しく人生を送り、そして自分、社員が幸せになる

ため。」です。

二日目は青全交終了後、会場を移動して中同協青年部連絡会がありました。全国の同友会の青年部の代表が集まり、自県の青年部の活動内容、これからの課題などを討議しました。中同協青年部連絡会代表、奈良同友会の中野愛一郎さんの話の中に、「青年部の活動で学んだこと、諸先輩から教えてもらった大切なことを次の世代に渡す。恩送りが大切だ。」とありました。これは同友会活動でも仕事でも大切なことだと感じました。

青全交は2回目の参加でしたが、全国大会でいろいろな経営者に会っていろいろな話ができることは自分にとって財産になるし経営者の資質を高める要素になると思います。そして知り合いが増える度に、嬉しくなりもっと頑張らんばいかんと思います。来年度の青全交は沖縄、その次は熊本。これからも毎年参加できるように精進していきます。



## 自分らしい理想の会社へ

～強い信念と社員とともに～

(株)京富士印刷 代表取締役 京都同友会 **高島 誠 氏**

青年経営者会 顧問 **山口 善也**

初日の分科会では京都同友会の高島さんの報告をお聞きしました。2006年に学校を卒業後すぐに家業の京富士印刷へ入社し営業として働き始めますが、古参営業社員がメインの自分の仕事だけやっていたら良いという個人事業主が集まっている様な会社でした。社内を変えようと経営理念を作成し社内に浸透させるべく色々試みますが、社員の反発や頼りにしていた社員の退職などで上手くいかず苦悩します。2014年に2年後の事業承継に向けて覚悟を決め、今までうまくいかなかったのは社員や他人のせいにして自分が悪いという事を自覚し(原因自分論)、もう一度組織作りに取り組み、一階に営業から現場まですべての部署を配置して社員の動きが分かる風通しのよい社内レイアウトに変更したり、部署ごとに売上や利益率を把握するアメーバ経営の導入や慰安旅行などの社内イベントを社員が企画運営する仕組みを導入するなど少しずつ自分の思いが伝わり理想の会社になりつつある経過を報告いただきました。

その後のグループ討論では①あなたは、理想の会社にするために何をしていますか？ ②自身に何が必要だと思いますか？というテーマで討論を行いました。参加された方の意見の中で、社員や役員との思いや考え方の共有や社長の理想を如何に周りに理解してもらい同じベクトルで会社づくりを出来るかなど、色々な

意見が出ましたが、「会社づくりは人づくり」まずは自分も含めた社員全員が理念・信念を持って行動する事が理想の会社づくりの第一歩であるというまとめとなりました。その後の懇親会も各県で開催される行事PRや久しぶりに会った他県の仲間との意見交換などで大いに盛り上がりました。

15日に開催された記念講演では、茨城同友会 金砂郷食品(株) 代表取締役社長 永田 由紀夫氏の講演で「地場産業の底力で、世界に咲き誇る！」～挑戦こそが未来を創る～というテーマでお話いただきました。大手納豆メーカーだった、くめ納豆に入社し成長ではなく膨張のように大きくなっていく当時の会社が1999年の東海村JCO臨界事故によって大きく売上が下がり、会社の立て直しのためリストラ役を請け負い改善を試みますが力及ばず愛知県の会社に売却する事となりました。しかし伝統と技術を守るため金砂郷食品を創業し東日本大震災などの苦難にも遭いながらも粘らない納豆や今までにない商品開発にも挑戦し国内だけでなく海外にも目を向けた経営をされ世界中に納豆を広める夢の為に絶えず挑戦し未来を創られているお話をお聞きしました。

午後からの第18回青年部連絡会では青年部連絡会の新体制について説明があり、その後新代表の中野さんより「青年部連絡会の向かうべき方向性について」という内容で報告していただき、熱く今後の青年部連絡会についてお話しいただき刺激を貰う事が出来ました。グループ討論でも前回の青全交の担当県だった石川同友会青年部の方達とお話しする機会をいただき、青全交後の石川青年部がどのように変わったかそしてどうすればより良い青年部活動が出来るのかを討論する事が出来ました。

## 佐世保支部 第1回 ビジカルランチ 開催報告

開催日時：9月6日(水) 11:30～13:00 会場：ハーベストキッチン

テーマ：会社を育てる5S活動 ～そこから始まった変化～ 報告者：(株)富士商工 常務取締役 中島 雄一 氏



夜の例会に参加できない会員さんにも役立つよう

に、又、会員以外のゲストの方も、気軽にご参加いただけますよう、ランチの時間帯に気軽な交流会とする事を目的とし、「第1回ビジカルランチ」をハーベストキッチンにて開催いたしました。

参加者はゲスト7名・会員21名、合計28名。11:30～12:00講話。12:00～13:00迄をランチしながらの交流会を行いました。

講話では5Sに取り組んだきっかけや様子、経過、新たなる目標をお話いただきました。事例に基づいた素晴らしい講話でした。

参加者からは、「短時間で、経営の学びと異業者と

の交流が出来たので良かった」「ランチがとっても美味しかった。お酒が入らない交流会も新鮮で良かった」「講話の内容が素晴らしかった。非常に解りやすく身になる内容であった」との嬉しいお声をいただきました。今後は試験的に月1回開催する予定です。このビジュアルランチが、会員やゲストの方の交流の場となり、支部活動の活性化に繋がりますように願っております。

(文責 村上 敦子)



## 諫早支部 産学連携委員会 「学生と経営者懇談会」 開催報告

開催日時：9月20日(水) 15:10 会場：長崎ウエスレヤン大学



例会の前に15時より、大学図書室において「学生と経営者懇談会」が開催されました。15社の参加があり「会社はどんな人を求めているのか」「学生は会社に何を求めているのか」など楽しく懇話しました。

今回の学生との懇談会に出席し、留学生の日本で学ぶ気持ち、また日本での就職に対する熱気・元気の良さがとても感じられました。私は建設業のグループでしたが、地元の建設業にも興味を示し、熱心に質問しておりました。

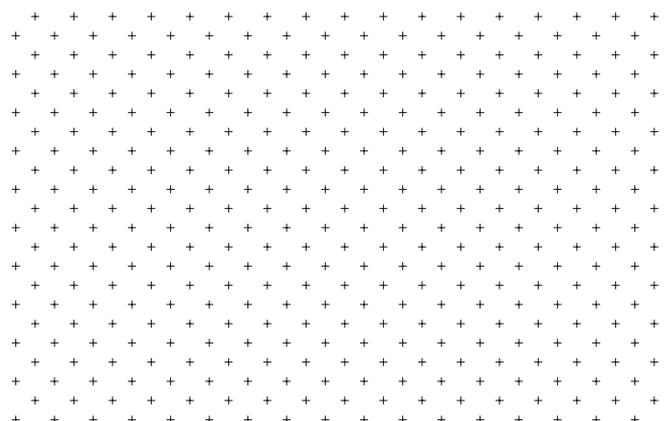
一方で、日本人の学生は照れもあるんでしょうか、大人しく質問もあまり無く、就職についても、まだあ

まり関心が薄いように感じられました。

今後、建設業もそうですが全業種で人手不足が深刻になってくると思います。今回のような学生との懇談会をいろいろな場所・学校で開催し、地元企業の良さを発信し、留学生・地元学生の就職活動に関わりたいと思います。

是非、地元企業に就職して我々と一緒に長崎県を元気にしてもらいたいですね。自分もワクワク・ドキドキの懇談会でした。

(文責 山崎 三郎)



## 佐賀同友会 西支部9月例会 参加報告

開催日時：9月21日(木) 18:30 会場：虹ノ松原ホテル

テーマ：「人を生かす経営」からみる障がい者雇用 ～社員誰もが笑顔で生き生きと働ける職場づくり…マックの現場から～

報告者：(有)エス・ケイ・フーズ 取締役 中村 こずえ 氏



1995年にマクドナルド家野町店をOPEN。その後病院訪問・小学校での防犯活動・地域祭りの協賛など地域・社会貢献にご活躍されています。

2001年に一人の障がい者との出会い、その6年後に再会した事がきっかけで2007年から障がい者雇用を始められました。

最初はパニックになることもありましたが、状況に合わせて社員の努力、指導で乗り越えることで社員も障がい者も共に学び、自ら考えて仕事をする事が出来ている。「共育」の形が確立されていると思います。

仕事を覚えるには健常者より少し時間が必要だと思いますが、それも個性と考えることも大切。素直な心、元気な声で挨拶、遅刻をしないなど基本は出来る。

特別支援学校・ハローワークから面接を経てトライアル雇用・ジョブズコーチと雇用の支援があります。まずは私たち経営者が障がい者を知ることから始まる事だと思います。

「障がいのレベルでは色々な事ができるかも!」「斬

新たなアレンジをつくれるかもしれない!」と気付かされました。

最後に「人を愛し人に愛されること」「人の役に立つ事」「人に必要とされること」「人に褒められること」全ての人に経験する権利がある。中村さんの報告は「涙」「笑い」ありの心に響く報告でした。

(文責 諫早支部 張本 優子)



### 長崎全研

2019年は長崎にて中小企業問題全国研究集会が開催されます!!

2019年2月(予定)開催まで

あと

16

ヶ月!!

# 事務局企業訪問

島原市片町と南島原市深江町に2店舗を構える、島原支部 GYARIRU 代表 北尾 新さんを訪問させていただきました。



## <GYARIRU>

2008年7月に島原市片町で美容室 GYARIRUを創業。開店当初から多くのお客様に恵まれ、2009年11月に2店舗目のGYARIRU・FUKAEを南島原市深江町にオープンしました。現在はカット・パーマ・カラー・ヘッドスパに加え、まつげエク

ステ・ネイル等のサービスを提供しています。

北尾さんは島原市で生まれ育ち、高校卒業後に美容専門学校に進学します。在学中から美容室でアルバイトをし、卒業後そのまま美容室へ就職しました。26歳の時に別の道を志して上京しましたが、やはり自分が進む道は美容師だと思い、長崎に戻りGYARIRUを創業しました。

## <理念・経営指針の作成>

北尾さんが同友会に入会されたのは、前島原支部長の上田五月男さんから誘われたのがきっかけでした。

入会からしばらくした頃に参加した全国大会で経営指針の必要性を学び、さっそく持ち帰って実践。まずは経営理念を、次に経営指針を策定し、これで会社も良くなると思いきやまったく良くなることはありませんでした。原因は自分ひとりで経営指針を策定し、自分の考えを押しつけて独りよがりになったことです。その失敗から経営指針はスタッフとともに策定することが重要だと学びます。現在は県主催の経営指針実践セミナーに参加し、スタッフとともに作る経営指針書を学ばれています。

## <労働環境の整備>

美容業界に飛び込んだ時、長時間労働に加えてまともに休憩をとることもできない労働環境に疑問を持ち、いつか独立した時にはそうした状況を良くしたいと思っていました。しかし創業後は自分のことばかりを考え、スタッフのことを考えることができず、労働環境を変えることができませんでした。

ところが同友会で学ぶうちに自分さえ良ければいいの



ではない、スタッフの幸せのために良い会社を作ろうという気持ちが芽生え、初心に戻り労働環境の整備に取り組みます。

以前はオープンからラストまで働いていましたが、その時々に必要な労働力を考えて出退勤時間を工夫し、1日あたり2時間の労働時間を短縮。また休憩時間もしっかり1時間を確保しました。また時間が短くなったからといって給料を下げるようなことはしませんでした。

その結果、労働時間を約2/3に短縮することができ、スタッフはどのようにすれば売上が上がるか、生産性を上げることができるかと自主的に考えるようになりました。また改善の意見が出やすいようにと、北尾さんは話し合う機会を多く作り、その意見を全体に共有するといった取り組みをされています。

そうしたところ現在では売り上げは減るどころか以前に比べ増えてきているということでした。

また新たな取り組みとしてスタッフへ北尾さんの背中を見せることで刺激を与え、モチベーションが上がるようにと、北尾さんはコンテストへ出場するようになりました。「まずは自分が動き、スタッフに影響を与えることができれば。」と北尾さんは語ります。なんと6月に開催されたコンテストでは長崎県で優勝し、10月に徳島で開催される全国大会への出場が決定しました。

## <夢について>

最後の事業の承継についてお聞きしたところ、「将来子供が自分に憧れて、美容師になりたい、GYARIRUを継ぎたいと思ってくれることが夢。そのためにも経営者として美容師として成長し、その背中を見せていきたい」と語られました。

これからの北尾さんのさらなる活躍とその夢が近い将来に実現することを祈念いたします。ありがとうございました。

## <会社概要>

GYARIRU

住所：〒855-0042 島原市片町 576

TEL：0957-62-6649 FAX：0957-72-6649

GYARIRU・FUKAE

住所：南島原市深江町丙 259-1

TEL：0957-72-6649

(文責 事務局 田口 友廣)

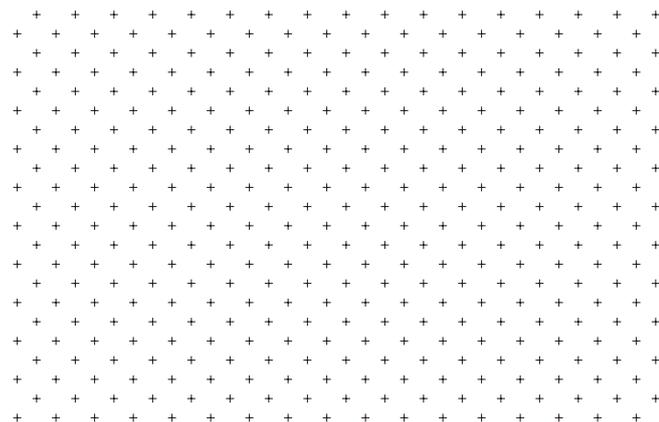
# 新入会員の皆さんです<9月入会・交代>

(敬称略)

## <入 会>

支 部 名	長崎出島支部			
氏 名	さだまつ とおる 貞松 徹			
企 業 名	社会福祉法人ながよ光彩会			
役 職 名	理事統括施設長			
企 業 住 所	〒851-2122 西彼杵郡長与町本川内郷2-3			
T E L	095-894-5555	F A X		095-894-5588
業 種	福祉・介護事業			
企 業 P R	「人のためにできること。」私たち、ながよ光彩会は、子どもからお年寄りまで、地域住民一人ひとりの想い、生活、文化をケアし、地域における福祉の“よりどころ”として地域社会の持つ力を尊重し、地域福祉の発展に寄与して参ります。			
スポンサー	中村 こずえ			

支 部 名	諫早支部		
氏 名	ひがし 東 ジェニファー M		
企 業 名	K		
役 職 名	代表者		
企 業 住 所	〒854-0016 諫早市高城町8-4 i×iビル5F		
T E L	090-2089-7980		
業 種	飲食業		
企 業 P R	皆様のくつろげる空間を提供させていただいております。ストレス等がたまったら是非発散しに来て下さい。		
スポンサー	山口 大輔		



支 部 名	佐世保支部			
氏 名	えぐち かずき 江口 和季			
企 業 名	ニコット・サービス(有)			
企 業 住 所	〒857-0114 佐世保市小舟町253			
T E L	0956-46-1147	F A X		0956-46-1182
業 種	土木建設			
企 業 P R	1. 「ありがとうございます」の心を素直に笑顔で実践します。 2. 会社は小さくても、感謝の気持ちは日本一の企業にします。 3. お客様から満足していただける企業にします。			
スポンサー	江口 陽一			

支 部 名	佐世保支部			
氏 名	のぐち りょう 野口 亮			
企 業 名	(株)五島産業汽船			
役 職 名	佐世保営業所 取締役所長			
企 業 住 所	〒857-0877 佐世保市万津町5-8 東洋ビル2F			
T E L	0956-76-7880	F A X		0956-37-1771
業 種	旅客船業			
企 業 P R	上五島～長崎市、上五島～佐世保市、下五島～佐世保市、長崎市～天草市を結ぶ旅客船業です。			
スポンサー	出端 徳昭			

支 部 名	佐世保支部			
氏 名	ひぐち さとこ 樋口 聡子			
企 業 名	樋口法律事務所			
役 職 名	弁護士			
企 業 住 所	〒857-0805 佐世保市光月町7-27 エスペランサ島瀬101			
T E L	0956-25-5250	F A X		0956-24-1619
業 種	弁護士			
企 業 P R	「あなたの抱えている心の重り、一緒におろしませんか。」様々な事案に対応してきた経験豊富な男性弁護士と女性弁護士が、あなたの抱える問題に関して考えを交わし合い、親身に、真剣に、迅速かつ丁寧に対応し、最善の方法での解決を図ります			
スポンサー	松尾 慶一			

V・ファーレン長崎



応援マット

ダスキン栄進 電話 095-823-7633

瀧川 隆 会員 (長崎出島支部)

# 広告募集

< 4 cm x 9 cm >

複数月	6ヶ月	12,000 → 10,000
	4ヶ月	8,000 → 7,000
割引	3ヶ月	6,000 → 5,000

支 部 名	佐世保支部		
氏 名	まつもと ひろし 松本 浩		
企 業 名	(株)大成住宅		
役 職 名	代表取締役		
企 業 住 所	〒857-0312 北松浦郡佐々町市場免8		
T E L	0956-62-6693	F A X	
業 種	建設業(新築・改築・リフォーム)、不動産業		
企 業 P R	お客様の大切な家作りをお手伝いする弊社スタッフは、少数精鋭、現場スタッフは、「腕に自信あり」の技術者をそろえております。弊社のHPをご覧になられるお客様にとって、一生に一度のマイホームを、安心価格で立派に完成できるように日々精進しております。無理な営業は決していたしません。お気軽にお問合せ下さい。		
スポンサー	綿川 淳子		

支 部 名	佐世保支部			
氏 名	ももの まさきよ 桃野 匡清			
企 業 名	(株)保険のおおぞら			
企 業 住 所	〒859-6142 佐世保市鹿町町深江585-5			
T E L	0956-65-3391	F A X		0956-65-3391
業 種	生損保代理店業			
企 業 P R	損保ジャパン日本興亜の専属代理店として自動車保険、火災保険、傷害保険を中心に、生命保険等幅広く取り扱っております。			
スポンサー	綿川 淳子			

支 部 名	佐世保支部		
氏 名	やまぐち ふじお 山口 富士雄		
企 業 名	味工房 陽だまり		
役 職 名	代表者		
企 業 住 所	〒857-0875 佐世保市下京町7-8		
T E L	0956-22-2347	F A X	
業 種	飲食業		
スポンサー	直江 弘明		

支 部 名	佐世保支部		
氏 名	よしき としのり 吉木 利徳		
企 業 名	社会福祉法人 むすび会		
役 職 名	常務理事		
企 業 住 所	〒857-0852 佐世保市千尽町3-101		
T E L	0956-33-1223	F A X	
業 種	障がい者福祉事業		
企 業 P R	社会福祉法人むすび会では、障がいのある方が生きがいを持って地域で生活を送ることができるように、就労支援及び生活支援を行っています。また、佐世保市と協力をしながら、障がい者福祉の増進に努めています。		
スポンサー	村山 隆之		

支 部 名	五島支部		
氏 名	ありかわ かずのり 有川 一徳		
企 業 名	(有)有川喜石材店		
役 職 名	代表取締役		
企 業 住 所	〒853-0064 五島市三尾野3-6-1		
T E L	0959-72-2457	F A X	
業 種	墓石・建築石材・記念碑・表札・灯籠・ペット火葬霊園・石アクセサリー		
企 業 P R	お墓作りの安心のブランドの全優石に加盟しています。「お墓の大切さ」の啓蒙で活動に最も注力しています。		
スポンサー	谷川 和夫		

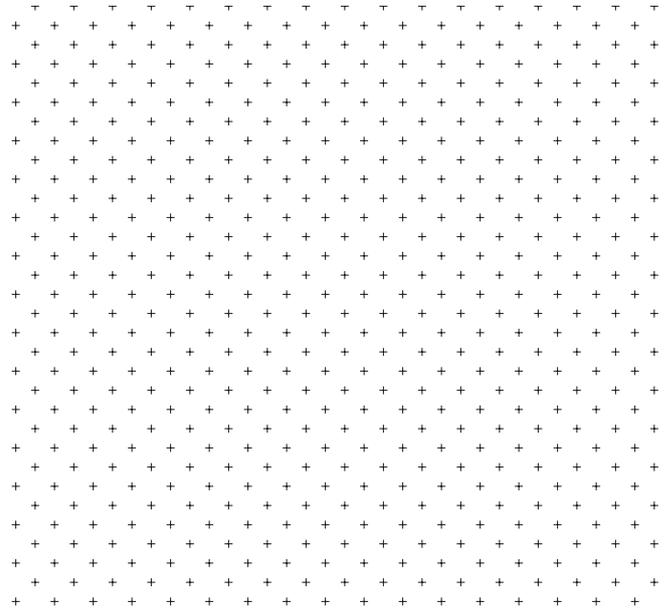
支 部 名	五島支部		
氏 名	さいごく ただかず 西極 忠和		
企 業 名	(株)萩原組		
役 職 名	代表取締役		
企 業 住 所	〒853-0031 五島市吉久木町1454-1		
T E L	0959-72-7750	F A X	
業 種	総合建設業・auショップ運営		
企 業 P R	陸上土木、海上土木、建築工事、長崎県内工事対応可能。auショップ福江運営。		
スポンサー	谷川 和夫		

支 部 名	五島支部		
氏 名	たにがわ かずゆき 谷川 和之		
企 業 名	(有)ケアメイトカラオケCLUB DAM 五島店		
役 職 名	営業部長		
企 業 住 所	〒853-0003 五島市錦町3-10		
T E L	0959-75-0076	F A X	
業 種	サービス事業・介護事業		
企 業 P R	一人でも多くの御客様に夢や希望を提供する企業をめざします。		
スポンサー	谷川 和夫		

支 部 名	五島支部		
氏 名	よこまくら けいさく 横枕 圭作		
企 業 名	環境プランニングサービス(株)		
役 職 名	代表取締役		
企 業 住 所	〒853-0704 五島市岐宿町河務326-6		
T E L	0959-82-1819	F A X	
業 種	産業廃棄物関連事業		
企 業 P R	・廃棄物処理及び環境に関するコンサルティング業務 ・産業廃棄物積替、保管及び収集運搬業 ・一般廃棄物収集運搬業 ・金属リサイクル事業 ・古物商 ・太陽光発電事業		
スポンサー	谷川 和夫		

<交代>

支 部 名	佐世保支部		
氏 名	池田 乃		
企 業 名	九州ひぜん信用金庫		
役 職 名	常勤理事 佐世保営業部 部長		
企 業 住 所	〒857-0043 佐世保市天満町1-15		
T E L	0956-22-5181	F A X	0956-24-7877
業 種	金融業(信用金庫)		
企 業 P R	<b>【経営理念】</b> ・中小企業の健全な育成発展 ・豊かな国民生活の実現 ・地域社会繁栄への奉仕 <b>【基本方針】</b> ・地域社会に奉仕する金融機関として、大衆のよりよき相談相手となり、経営規模の拡大を図り地域経済の発展に寄与する。		
前 会 員	橋本 正喜		



会員活躍

長崎新聞 9月5日 長崎浦上支部 内山 洋二 会員

出島や眼鏡橋、路面電車に「尾曲がり猫」。長崎市の魅力をぎゅっと詰めたデザインの波佐見焼マグカップⅡ写真Ⅱが完成した。

〇：観光客だけでなく、地元住民にも「自分のまちつていいな」と手に取ってもらいたいとの思いから、土産品の商品開発を手掛ける鳴滝（長崎市）とアパレルメーカーのnilli(同、ニル)が新ブランド「nagasaki NAnni (ながさきナーニ)」をつくった。1個1500円(税別)で今月15日に発売する。

〇：カップに長崎の地図を描いた。まち並みを散歩し、大切な人にも伝えたいくなるワクワク感を表現したという。手に持つと見えるカップの内側には、遊び心でワンポイントを入れた。尾曲がり猫と、もう1種類は、さてなーに？

(輔野沙織)



長崎新聞 9月6日 佐世保支部 吉村 市代 会員

長崎新聞 9月15日 長崎出島支部 李 泳勲 会員

がん患者にウィッグを

NPO法人「葵会」 リユース協力募る



吉村さん(右)にウィッグを贈った前田さん(佐世保市万寿町、Nanato、吉村さん提供)

乳がん患者と家族を支える佐世保市のNPO法人「葵会」は、使わなくなった医療用ウィッグを集める取り組みを始めた。7月末には初めて提供を受けた。一定数を集めれば、代表の吉村市代さん(61)は「つらい思いをされている患者に、応援しているよ」と伝えた。一人を思いやる人だ

た。きと算んでいるはず。初めて提供してくれたのは佐世保市の主婦前田真由美さん(41)。5年前に骨がんで亡くなった母親のウィッグを寄贈した。つらい思い出がよみがえるため、しまひんだんだったが、知人から葵会の活動を聞き出した。看護師だった母でさえ、髪が抜けたときはショックを受けていた。眠らせるより誰かの役に立つてほしいと前田さん。「病気になると思えば、髪が抜けたら」と思ってもおそれば」と思いを寄せる。

葵会は10個を目標にイベントなどで協力を呼び掛ける。一定の数を集まれば病院などで展示会を開く方針。吉村さんはがんは治療も長く周囲の環境や自分自身にも変化が起こる。「一人じゃないよ」という気持ちや患者同士のつながりも届ける取り組みにしたいと語る。問い合わせは吉村さん(電0956・333・4148)。

(森村友里恵)

ORCコードを読み取りFAVO長崎のサイトを確認することができます。

事業概要は、長崎の起業家がオフィス環境を共有し、交流もできるコワーキングスペースを提供しつと新施設「minato」を開きます。カフェのようならやれな場所を事業拠点

地域×クラウドファンディング  
**FAVO 長崎**

新しい働き方を提案  
「minato」の運営会社「DUZZ」代表  
李 泳勲さん(29)

点として、世界を舞台に活躍してほしいです。ビジネス経歴も豊富で、長崎が再び、新しい創業のチャンスをつくり、事業の応援に取り組みます。

「メモ」  
7資金調達目標額50万円(人口33.3万人口)マダ受取付けの締め切り9月20日出島への特派員(金額に応じ)コラボスペースの無料利用や出島を

「オフィスを共有、交流も」  
事業にかける思いは、起業家を増やし、県全体を元気付けたいという思いから、事業者が互いに情報交換でき、刺激し合える環境構築を目指します。長崎はかつて、出島を通し新技術や文化が集まる場でした。minatoを通して、長崎が再び、新しい技術やサービスの発祥の場となるようにしたいです。

# 11月例会案内

他支部の例会情報は、ホームページや e.doyu から閲覧・参加申込可能です。

## ●長崎浦上支部

日 時 11月21日(火) 18:30～21:00  
会 場 長崎文化ホール アストピア  
テ — マ 11年連続長崎 NO.1  
リフォーム店の戦略と戦術  
報 告 者 (株)中村工務店 代表取締役社長  
中村 鉄男 会員

創業60年、住宅リフォーム売上ランキングにて長崎エリア11年連続1位の“すまいるリフォーム”中村工務店。倒産したどん底の時代から不屈の精神で這い上がり借金を完済。現在は社員数30名、職人20名で18年連続黒字経営を継続中。逆境から復活の裏には、売上至上主義から利益至上主義、そして四方良しの【ありがとう経営】に基づいた他社が真似できない戦略と戦術があります。そんな中村さんの取組についてご報告いただきます。

## ●長崎出島支部

日 時 11月22日(水)  
会 場 サンプリエール  
テ — マ 長崎女子短期大学の歴史、現状そして未来  
報 告 者 学校法人 鶴鳴学園 長崎女子短期大学 学長  
玉島 健二 会員

(1)日本の短期大学の現状

(2)鶴鳴学園及び長崎女子短大の歴史

(3)長崎女子短大の現状

①学長の運営方針 ②学科・コースの特色、資格・免許、就職状況

③学生の実態(学生数、出身地等) ④学生募集の取組

長崎女子短期大学の今後に向け(学長としての思い、考え)、ご報告いただきます。

## ●大村支部

日 時 11月21日(火) 18:30～21:15  
会 場 長崎インターナショナルホテル  
テ — マ 仮題『ゼロからの承継!! 本当に大切なものとは』  
～いち社員から、社員と共に築いた経営道～  
報 告 者 アーテック(株) 代表取締役  
林田 雅博 会員

創業社長が、突然の病死。同会社のいち社員から代表取締役就任へ。しかし、経営はもろろん、創業社長からの事業承継もない状態で、社長の真似事を行うが考えられないようなトラブルが続出し文字通り壁にブチあたる。しかし、一人の経営者と出会い、“経営は「人」なり”という言葉で、社員と共に成長できる会社作りを目指すよう意識改革を行う事により、社内に活力が戻りビッグチャンスにも恵まれる。事業承継者として、変えなければいけないものとは? 変えてはいけないものとは? その覚悟についての体験談を報告いただきます。

## ●諫早支部

日 時 11月22日(水) 18:30～21:00  
会 場 諫早観光ホテル 道具屋  
テ — マ 夢を語ろう ～衛星に夢を託して～  
報 告 者 (株)ニッシン 代表取締役  
伊崎 孝幸 会員(長崎出島支部)

小さい頃、宇宙にまたは宇宙に携わる仕事に夢や憧れを抱いた経験のある方もいるのではないのでしょうか? 最初は軽い気持ちでなんとかなるだろうとチャレンジしたことをきっかけに衛星の推進薬タンク開発に関わることになり、その後苦勞の40数年。衛星に我が社が納めた推進薬タンクについて宇宙を周回していると思えば思うほど40数年頑張ったかいがあったもんだと思っております。夢を実現するために苦しいときを乗り越えて【夢】を実現させたとき喜びが待っています。同友会の3つの目的を達成するため経営者自らが「自分の夢を待つことが大事」だと私は思っています。報告でしか語れない開発に関する苦勞・秘話を交え、今の【夢】を語ります。

## ●島原支部

日 時 11月17日(金) 19:00～21:15  
会 場 HOTEL シーサイド島原  
テ — マ 日本一新鮮で美味しい魚を提供するために  
～らしくない漁師の同友会での学び～  
報 告 者 福栄丸 代表者  
渡 慎吾 会員(五島支部)

恵まれているとは程遠い環境で育った渡さんは、家業の漁師を跡継ぎするものの、日々の仕事に追われる。ある日祖父が脳梗塞で倒れ、経理を見直すようになるが悪戦苦闘の毎日。そんな最中に「同友会」と出会う…。果たしてこの漁師は何を学び、これからどこへ向かうのか…。感動必至! 同友会の素晴らしさを再確認できる報告となるでしょう。是非ともお誘い合わせの上、お越し下さいませ!!

## ●佐世保支部

日 時 11月24日(金) 18:30～21:00  
会 場 アルカス佐世保3F 大会議室  
テ — マ 「2度の事業継承とこれから」  
～美容業界をヤバくする～  
報 告 者 (株)佐世保福祉 取締役  
綿川 淳子 会員  
スタイリッシュワーズ(有) 代表取締役  
綿川 洋 会員

綿川淳子さんと綿川洋さん、親子での報告です。綿川淳子さんは、ご主人である綿川徹さんと共に、昭和33年に義母が創業した『美容わたがわ』を承継され、夫婦二人三脚で事業の発展に努めました。法人化、多店舗展開・新事業の創出、綿川淳子さんの手腕とカリスマ性には目を見張るものがあります。そして、平成26年に美容部門「スタイリッシュワーズ(有)」を承継された綿川洋さん。これからの美容業界を見据え、人材確保及び育成、取組み等、広い視野と発想を持って、日々経営者としての学びを大切にされています。中小企業にとっては大きなターニングポイントとなる「事業承継」を、「受け継ぐ側」と「受け継がれる立場」2つの視点から報告していただきます。綿川親子の報告で刺激とパワーをいただきましょう!!

## ●北松浦支部

日 時 11月13日(月) 18:30～20:30  
会 場 サンパーク吉井  
テ — マ 同友会で学んだことと仲間づくり  
報 告 者 (株)広告のアクセス 代表取締役  
山領 進 会員(佐世保支部)

北松浦支部において、特に会員増強は大きな課題となっており、県内の支部では会員増強が進んでいる中、会員数42名と減少している。会員を増やすために会員の意識の向上及び同友会をどのように活用して自社の発展を行うべきなのか。これまでの経験を通し、元県仲間づくり委員長の山領さんより「仲間づくり」についての思いをご報告いただきます。

## ●五島支部

日 時 11月11日(土) 18:30～21:00  
会 場 福江総合福祉保健センター  
テ — マ 倒産一文無しからの逆転! と思ったら…  
～心が折れる時、立ち直る時～  
報 告 者 (有)思案橋観光 取締役社長  
山口 憲男 会員(長崎出島支部)

## ●青年経営者会

日 時 11月18日(土)  
会 場 未定  
内 容 未定

# 10月理事会 議事録 抜粋

10月4日(水) 19:00~21:15  
つくば倶楽部 出席19名 欠席5名

## 開会挨拶 - 松尾代表理事

昨日は沖縄同友会30周年記念の経営研究集会に参加しました。沖縄同友会は60名でスタートし、10年で600名、20年で1000名、30年で1200名を達成しており、そのすごさを感じ、我々ももっとできると感じました。また、経営研究集会の様子が沖縄の新聞2紙の1面に掲載されていました。これは会員が広告費を払って1面を飾っているのです。これを沖縄の方が目にし、同友会頑張ってる、こうした取り組みをしていると知ることができるのは素晴らしいことと思います。他県に行ってみるとすごいことをやっていると勉強になります。

## 仲間づくりについて

1)入会・交代・退会の承認について  
5名の入会、2名の復会、1名の変更、2名の退会を承認

2)仲間づくりの進捗状況・具体的活動状況について  
西山委員長欠席のため、松尾代表理事より総括 -  
仲間づくり委員会も活発になり、9月開催の委員会では初の全支部より参加をいただきました。目標達成に向けて、支部長の皆さんがやるぞという気になれば、できないことはありません。よろしくお願ひします。みなさん、「まずは例会に参加して」とか「雰囲気を知ってから」と誘っています。それは悪い事ではありませんが、同友会活動は3年10年やっても分からないくらい奥深いので、まずは入ってくださいと声をかけてください。

- ・11月14日を県下一斉キャンペーンと位置付ける提案  
(補足・意見として)
  - ・8月に佐世保支部と五島支部で合同の増強デーを行い、素晴らしい結果が出ました。11月14日は長崎同友会設立の日ですが、この日を毎年県下一斉の増強の日としてはいかがでしょうか
  - ・継続性を持たせるために記念日をイベント化することは素晴らしいことです。沖縄は10月3日が設立の日で、毎年研究集会をおこなっていると聞いています。長崎同友会が出来た日を忘れないということも含めて素晴らしい取り組みではないでしょうか?
- 毎年11月14日を仲間づくりの日とすることを承認

## 協議・承認事項

1)第24回経営フォーラムについて  
(最終確認事項)  
・登録状況(10/3 10時現在)  
第1分科会56、第2分科会73、第3分科会82  
・各支部名札、バッジ着用のお願ひ  
→上記を確認  
・最新の登録数を確認  
・(岩実行委員長より)報告者の湯澤さんが、10/7NHKの逆転人生という番組で特集があることを報告  
・(吉澤支部長より)各支部へ動員協力のお礼と目標達成に向けてさらなる力添えのお願ひ

2)広報誌に各界からの提言を掲載することについて  
(松尾代表からの提案を受け情報広報委員会案)  
・内容は「会員中小企業に向けての提言」及びプロフィールと顔写真  
・毎月1人に依頼  
・1Pを予定  
・2018年2月号より開始  
(三役会案)  
新年号からの掲載を提案。  
→情報広報委員会案と三役会案を検討しながら進めていくことを承認

3)ダイバーシティ委員会からの提案について  
→委員会活動費の使用目的追加の提案  
(意見として)  
・委員会の活性化のために賛成

・予算について本部委員会費として5万円(全委員会共通・委員会会場費等に使用)、それ以外の委員会ごとの活動として委員会活動費として計上していることを説明

(総じて)  
ダイバーシティ委員会からの提案を承認

4)ダイヤモンドクラブ会員として在籍いただく際のルールについて  
(三役会案)  
退会された方にも適用範囲を広げる方向性を提案  
→三役会案を承認  
元会員のリストを参照し各支部役員会で消息等が分かれば、事務局まで連絡いただくことを依頼。

5)2018年賀詞交歓会について - 2018年1月23日(火)  
(三役会案)  
2017年1月理事会議事録において、開催することに関しては協議事項となっている。開催する方向性を提案  
(松尾代表理事より)賀詞交歓会をきっかけに純心大学との包括連携協定に至ったこともあり、ぜひ今後も開催し会外との関係づくりをしていただきたい  
→三役会案を承認

6)長崎新聞からのトップインタビュー依頼について  
(三役会案)  
新年号外にてトップインタビュー掲載。  
→三役会案を承認

7)企業変革支援プログラムの活用について  
(三役会案)  
長崎の利用率は低い。以前はシリアルナンバーを入力する手間があったが、e.doyuリニューアル後は簡単な作業で回答できる。ステップ1に回答することで企業の経営課題を認識できる。まずは理事がステップ1を登録し、今の経営状況を分析いただきたい  
(意見・補足説明として)

- ・企業変革支援プログラムに取り組むことで自社の足りないところ分かる。e.doyuでは無料で取り組めるのでぜひ
- ・幹部社員と同時にチェックをすることで、経営者と幹部社員との社内のギャップを知ることもできる。e.doyuで複数人が返答すると上書きされるので、エクセルをダウンロードして使用をお願いします
- ・e.doyuで登録することでグラフで自社の経営課題が分かり、全国の会員と比較することができる
- ・11・12月が強化月間となっているのは、その時期に確認をし来期の経営指針作成につなげるため
- ・長崎県の経営指針実践セミナーでは、必ず企業変革支援プログラムを使用することを約束している
- ・長崎の会員は書籍を持っている人は多いが、e.doyuの登録は少ない
- ・まずは理事が取り組みを。10月中に理事が、11月中に支部役員が、12月中に全会員がe.doyuに登録をしてはどうか?

(総じて)  
三役会案を承認  
e.doyu上の企業変革支援プログラムに10月中に理事が、11月中に支部役員が、12月中に全会員が登録を行う。次月理事会までに理事は登録することを依頼

8)留学生支援センターから名義後援の依頼について  
→11月15日(水)セミナーにおける名義後援の依頼(ガイドライン上問題なし)

(補足説明として)  
・現在の留学生の実態を知る事ができます。長崎に残りたいが仕事が少ないという事実があります、優秀な留学生がたくさんいます。ぜひ知っていただきたい  
→11月15日(水)セミナーにおける名義後援を承認

9)2017年度役員研修会の振り返り  
9月9日(土) 第1部 研修会13:30~17:20

第2部 懇親会 17:30～  
会場：長崎新聞文化ホールアストピア  
(最終出欠)

	浦上	出島	大村	諫早	島原	佐世保	北松浦	五島	計
目 標	13	11	16	17	13	11	9	6	90
登 録	9	6	12	11	10	6	3	0	57
出 席	10	6	10	11	10	4	3	0	54

10) 第1回役員選考委員会について

(第1回役員選考委員会について)

第1回役員選考委員会を開催。松尾代表理事が今限りで退任し、金井副代表理事が来期の代表理事として推薦されたことを報告

(松尾代表理事より)

代表理事という役を拝命し、10年間出来る限りやってきました。同友会で学ぶなかに事業承継がありますが、長崎同友会においても承継を実践しなければと思っています。全研に向けて来期も代表理事をという声をいただいておりますが、全研をこれからの長崎同友会を盛り上げていくスタートとしてとらえていただきたいです。

(金井副代表理事より)

まだまだやれる松尾代表理事です。長崎同友会の会員を300名から600名への増強活動、たくさん取り組みをされてきました。しかし6年間副代表理事をやってきた立場から、代表理事の意志を尊重し、来期代表理事の職を引き受けようと思いました。松尾代表理事に少しでも近づけるように頑張りますので、皆さんのご協力よろしくお祈いします。

(決議事項)

金井政春副代表を来期の代表理事として来期総会に上程

報告・連絡事項

1) 9月 県本部・各委員会・各支部等の活動状況について

2) 例会について(更なる例会の充実をめざして)ー山口例会委員長

9月例会の反省(内容・出席率・返信率)について各支部にヒアリング(山口例会委員長)130名の会員数を超える佐世保支部が返信率90%を超えています。会員数が多いから返信率を上げられないということはありません。ぜひ返信率アップの取り組みをお願いします。

3) 中同協 主要行事の紹介

理事は年1回、支部役員は2年に1回は全国大会に参加しましょう！(申し合わせ事項)(敬称略)

9月14・15日(木・金)	第45回 青年経営者全国交流会/茨城/現在6名 ・浦上-橋本①、山口善③・出島-分部⑥・大村-濱村⑥ ・佐世保-原田④、渡邊②
10月5・6日(木・金)	組織強化・増強・拡大全国交流会/東京 松尾代表、峰
10月19・20日(木・金)	第19回 障害者問題全国交流会/広島/現在10名 ・出島-伊藤②、菅原⑥、中村こ②、渡邊(伊藤さん社員)② ・島原-永吉杏⑥・佐世保-橋口⑥、原田③、渡邊④ ・北松浦-宮田③・事務局-田口①
12月7・8日(木・金)	共同求人・社員教育活動全国交流会/島根
2月8・9日(木・金)	第48回 中小企業問題全国研究集会/兵庫/キャラバン開始

4) 9月7・8日(木・金)中同協社員教育・共同求人合同委員会参加報告(松本委員長、橋口準備委員長、峰事務局次長)

(松本委員長)共同求人・共有の大切さを学びました。これからは新

入社員だけでなく、中堅の共有にも力を入れていきたいです。

(橋口準備委員長)経営指針・社員共有・共同求人三位一体がないとバランスの取れた同友会活動はできないと感じました。まずは自分が学び、その学びを長崎同友会に広げていきます。

5) 9月14・15日(木・金) 第45回青年経営者全国交流会参加報告(橋本会長、山口委員長、原田支部長)

(橋本会長)分科会のグループディスカッションでは私以外が全員後継者でした。そして後継者をきちんと指名しないと社内が惑うことを知り、承継の大切さを学びました。

(山口善也委員長)分科会は同業の分科会に参加しました。組織作りについて学びました。広浜中同協会長と青年部連絡会代表の新体制で初めての青全交でしたが、2日目の青年部連絡会では中野さんは熱い想いを語られて、これからどんどん攻めていく青年部連絡会になるのではと感じました。比嘉さんにも報告しております。

6) 9月15日(金) コンベンションセミナー参加報告(峰事務局次長)

7) 9月20日(水) 純心大学キャリア講座ゲストスピーチ報告(中村支部長、峰事務局次長)

(中村支部長)純心大学と包括連携協定を結び、最初のゲストスピーチということで行ってきました。企業としてどういった人材が欲しいかという話をしました。

8) 9月21日(木)佐賀同友会西支部例会参加報告(報告者・中村支部長)

(中村支部長)佐賀同友会には障がい者問題委員会がないということで、報告にいきました。佐賀では11月理事会に障がい者問題委員会の設立を上程するという確約いただきました。中同協の平田さんにも報告しました。

9) 9月21・22日(木・金) 九州・沖縄ブロック事務局長会議参加報告(峰事務局次長)

義援金の在り方や申し合わせを検討しています。災害があった際に良かれと思って物資を送った場合に、被災地では保管する場所がなく困る場合があります。気持ちは分かりますが、本音としてちょっと待ってくださいといったこともあるようです。今後に関しては中同協としても検討をしていきますので、随時報告をさせていただきます。

10) 9月22日(金)女性活躍推進法に基づく「行動計画策定」に係る地域別説明会・個別相談会 参加報告(田口事務局)

女性が働きやすい職場というのは、女性だけでなく男性社員にとっても働きやすい職場と成り得ます。詳細はe.doyu 掲示板を確認ください。

11) 3ヵ月会費滞納者についてー長崎出島1名

12) その他

(松尾代表理事)沖縄は返還後45年で過去最高の好景気という話を沖縄の研究集会の来賓祝辞で聞きました。

※次回日程ー11月理事会

11月1日(水)19:00～ 場所:つくば倶楽部

会員動向

会 員 数 (10月1日現在)

	浦上	出島	大村	諫早	島原	佐世保	北松浦	五島	合計
目 標	135	115	100	90	75	145	55	35	750
期 首	110	87	79	72	61	124	44	25	602
現 在	110	91	80	74	62	133	42	31	623

●企業住所等変更

上野 辰一郎 会員 (諫早支部) 新住所: 〒854-0065 諫早市津久葉町6番地10  
新TEL番号: 0957-25-0777 新FAX番号: 0957-25-0303

久野 さとみ 会員 (旧姓 中野 さとみ) (佐世保支部)

※ご結婚による改姓です。おめでとうございます。

退会者 (敬称略)

会員名	会 社 名	支部名	入会年月
上 戸 頼 忠	リアルエステート(株)	長 崎 浦 上	2016年 1月
濱 田 利 夫	ユニオンソフト(株)	長 崎 出 島	1992年11月